

ご使用に際しては、この添付文書を必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

第2類医薬品

ウチダの漢方製剤

ウチダの **乙字湯**

オツジトウ

ウチダの乙字湯は漢方処方にしたがって、生薬を配合した煎剤で、特異なおいがあります。

効能・効果

便秘がちで局所に痛みがあり、ときには少量の出血があるもの。
痔核、痔出血、痔疾の疼痛



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の瀉下薬(下剤)

* 2. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。

* (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。

- (5) 高齢者。
- (6) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (7) 次の症状のある人。

むくみ

(8) 次の診断を受けた人。

高血圧、心臓病、腎臓病

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

* (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛
皮膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
間質性肺炎	せきを伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。
* 肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。

* (2) 1ヵ月位(きれ痔、便秘に服用する場合には5~6日間)服用しても症状がよくならない場合

3. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談すること

* 4. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること

下痢

用法・用量

年齢	1日量
大人(15歳以上)	1袋(1日分)につき水600mL(約3合3勺)を加えあまり強くない火にかけ300mL(約1合7勺)に煮つめ3~2回に分けて食前1時間または食間空腹時に温服する。
15歳未満	服用しないこと

成分・分量

本品1袋中	
ダイオウ	1.0g
サイコ	5.0g
ショウマ	1.5g
カンゾウ	2.0g
オウゴン	3.0g
トウキ	6.0g

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)

お問い合わせ先

本品の内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記にお願い申し上げます。

株式会社 ウチダ和漢薬 03-3806-4141

受付時間 9:00~17:30(土、日、祝日を除く)

本剤は生薬を原料としていますので、製品により多少色が異なることがあります。効能・効果にかわりはありません。



株式会社 ウチダ和漢薬

東京都中央区日本橋本町 4-2-8